１２．大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率

算式

【分子】　分母対象例のうち、当該入院期間中に「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」又は「K740-2腹腔鏡下直腸切除・切断術」を施行した患者数

【分母】　測定期間内の退院患者のうち「大腸がん」を主病名として入院し、「K7193結腸切除術　全切除、亜切除術又は悪性腫瘍手術」、「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」、「K740直腸切除・切断術」又は「K740-2腹腔鏡下直腸切除・切断術」を施行した退院患者数

定義

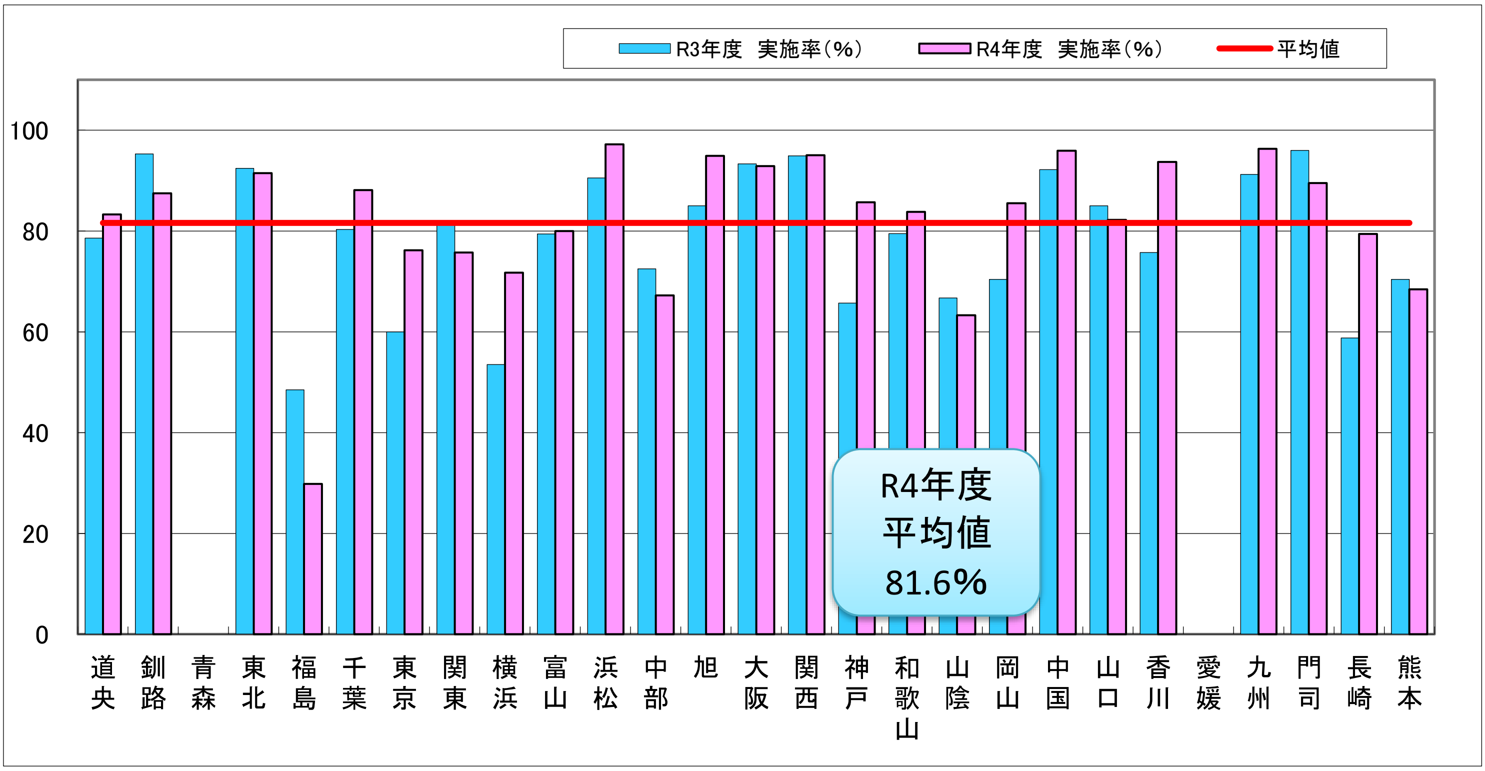
「大腸がん」を主病名として入院し、悪性腫瘍手術を実施した患者のうち腹腔鏡下での手術実施割合

指標の解説

ＤＰＣデータより抽出

腹腔鏡下手術の有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、腸管運動の早期回復、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施率により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

１２．大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率



		R3年度				R4年度			
No	施設名※	分母	分子	実施率（%）	（再掲）ロボット支援手術によるもの	分母	分子	実施率（%）	（再掲）ロボット支援手術によるもの
1	道　央	28	22	78.6	－	18	15	83.3	－
2	釧　路	127	121	95.3	－	144	126	87.5	－
3	青　森	43	0	0.0	－	46	0	0.0	－
4	東　北	79	73	92.4	－	71	65	91.5	－
5	福　島	132	64	48.5	－	104	31	29.8	－
6	千　葉	137	110	80.3	0	134	118	88.1	20
7	東　京	40	24	60.0	－	42	32	76.2	－
8	関　東	83	68	81.9	－	70	53	75.7	－
9	横　浜	114	61	53.5	8	106	76	71.7	23
10	富　山	34	27	79.4	－	45	36	80.0	－
11	浜　松	42	38	90.5	－	36	35	97.2	－
12	中　部	69	50	72.5	－	67	45	67.2	－
13	旭	40	34	85.0	－	59	56	94.9	－
14	大　阪	194	181	93.3	40	196	182	92.9	57
15	関　西	237	225	94.9	56	242	230	95.0	81
16	神　戸	35	23	65.7	－	28	24	85.7	－
17	和　歌　山	78	62	79.5	－	68	57	83.8	－
18	山　陰	69	46	66.7	－	60	38	63.3	－
19	岡　山	54	38	70.4	－	62	53	85.5	－
20	中　国	77	71	92.2	－	73	70	95.9	－
21	山　口	60	51	85.0	－	45	37	82.2	－
22	香　川	103	78	75.7	19	127	119	93.7	19
23	愛　媛	4	0	0.0	－	0	0	0.0	－
24	九　州	91	83	91.2	－	80	77	96.3	－
25	門　司	25	24	96.0	－	19	17	89.5	－
26	長　崎	34	20	58.8	－	34	27	79.4	－
27	熊　本	54	38	70.4	－	57	39	68.4	－
合　計		2,083	1,632	78.3	－	2,033	1,658	81.6	－
平均	500 床 以 上	129.0	110.0	84.8	－	125.0	109.0	86.6	－
	400 床 以 上	82.0	69.0	84.3	－	87.0	77.0	88.5	－
	300 床 以 上	71.0	50.0	70.5	－	63.0	47.0	73.6	－
	300 床 未 満	25.0	15.0	61.5	－	27.0	18.0	66.3	－

※対象症例がない施設については除外